

(様式2)新規評価シート

事業種類		治山・砂防		事業名		山地治山						
市町村名		阿智村		ふりがな 箇所名	こか 伍和		事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H30 年度			
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)						
	全体	治山ダム工 17個 床固工 7個			755,000	国庫	その他	県債	一般財源			
要	H26年度											
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)		
	必要性	保全対象人家	■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸				25			
		保全対象公共施設	■ 2箇所以上	□ 1箇所	□ なし				25			
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	□ 重要施設	□ 一般施設	■ なし				0			
		事業目的(保安林・林業用施設)	■ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	□ 保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	□ 保安林率30%未満				40			
	小計								90	0.2	18	
	重要性	過去の災害履歴	■ 過去5年に1回以上	□ 災害履歴地	□ なし				30			
		交通遮断による地域経済などへの影響	■ 大	□ 中	□ 小				30			
		防災計画上の位置づけ	■ あり	□ なし				40				
		小計							100			0.1
	効率性	費用対効果(B/C)	□ B/C2.0以上	■ B/C1.0以上2.0未満	□ B/C1.0未満				25			
		早期発現度	□ 3年未満	■ 3年以上5年未満	□ 5年以上				25			
		流域の総合調整	■ あり	□ なし				20				
		小計							70			0.1
	緊急性	最寄の保全対象までの距離	■ 50m未満	□ 50m以上200m未満	□ 200m以上				20			
		平均溪床勾配(平均山腹勾配)	□ 10°以上(30°以上)	■ 5°～10°未満(20～30°未満)	□ 5°未満(20°未満)				15			
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	□ なし	■ あり(概ね満砂)	□ あり(ポケットあり)				10			
		山地災害危険地区危険度	■ Aランク	□ Bランク	□ Cランク	□ なし						40
		小計							85			0.4
	計画熟度	地域からの要望	■ 地域住民活動強い	□ 市町村要望有り	□ 特に要望ない				40			
事業情報の共有		■ 関係者以外にも周知	□ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない				40				
県民参加と協働		■ あり	□ なし				20					
小計								100	0.2			20
費用対効果(B/C)		1.64		評価の合計					89			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成25年9月台風18号災により土石流が発生し、下流の工場や村道、民家に流入する被害となった。溪流内には巨石を含む不安定な土石や流木が堆積している状況となっており、次期降雨等により再度災害の発生が懸念される状況となっている。										
	地域からの要望経緯	人家や工場の保全、また地域の重要な生活道路である県道、市町村道の保全もあるため地域からの強い要望がなされている。										
	事業説明等の経緯	村役場を通じて、地権者・地区への説明を行っている。										
	環境・景観への配慮項目	特になし。										
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。										
	特記事項	特になし。										
地域の合意形成		□ 全員賛成	■ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明							
部意見	対策の必要性は感じられるが、本年度実施している災害関連緊急治山事業の進捗状況を踏まえ、流域全体の復旧計画を精査したうえでの事業実施が望ましい。				行政改革課 意見	重要性は高く、必要性、緊急性も認められる。						